

酒々井町 令和7年度全国学力・学習状況調査結果

令和7年4月17日に小学校6年生と中学校3年生を対象に全国学力・学習状況調査が行われました。当町の児童生徒の状況は次のとおりでした。

小学校（国語科・算数科・理科）

国語科は、全国の平均正答率をやや下回るという結果でした。書く内容の中心を明確にし文章の構成を考えたり、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫する力に課題があることがわかりました。

算数科は、全国の平均正答率とやや下回るという結果でした。図形の意味や性質についての理解、図形の面積の求め方を式やことばを用いて記述する力、伴って変わる二つの数量関係に着目し、知りたい数量の求め方を式やことばを用いて記述する力に課題があることがわかりました。

理科は、全国の平均正答率と同程度という結果でした。問題を解決するための観察、実験の方法が適切であったかを検討し、表現する力に課題があることがわかりました。

今後の対応

音読、要約、作問など様々な言語活動を意図的に取り入れるとともに、図や言葉等を活用しながら自分の考えをまとめて話したり、書いたりする活動を取り入れていく必要があると考えます。

中学校（国語科・数学科・理科）

国語科は、全国の平均正答率をやや下回るという結果でした。文法知識や語彙力が不足しているとともに、語句の用法、叙述の仕方などを確かめて、文章を整える力に課題があることがわかりました。

数学科は、全国の平均正答率を下回る結果でした。図形の意味や性質についての理解、図形の面積の求め方を式やことばを用いて記述する力、伴って変わる二つの数量関係に着目し、知りたい数量の求め方を式やことばを用いて記述する力に課題があることがわかりました。

理科は、全国の平均正答率とやや下回るという結果でした。問題を解決するための観察、実験の方法が適切であったかを検討し、表現する力に課題があることがわかりました。

今後の対応

知識や語彙を増やし、文章の内容を正確に把握する力を高めていくとともに、自分の考えを整理し表現する場面を積極的に増やしていく必要があると考えます。

各学校においては、学習指導要領の領域、評価の観点、出題の趣旨、さらには児童生徒質問紙との関連などを分析し、自校の課題を洗い出し、改善策を検討しています。

問い合わせ 学校教育課学校教育班 ☎043（382）2345